

著作権

商標権

特許権

知的財産権侵害 に関する調査結果



■ 調査概要と回答者属性①(年齢、性別、居住地、稼働歴、稼働時間)

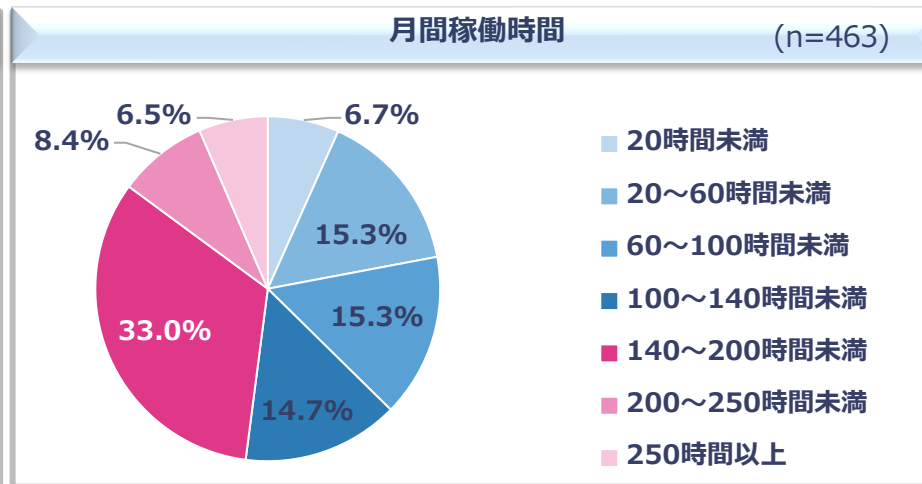
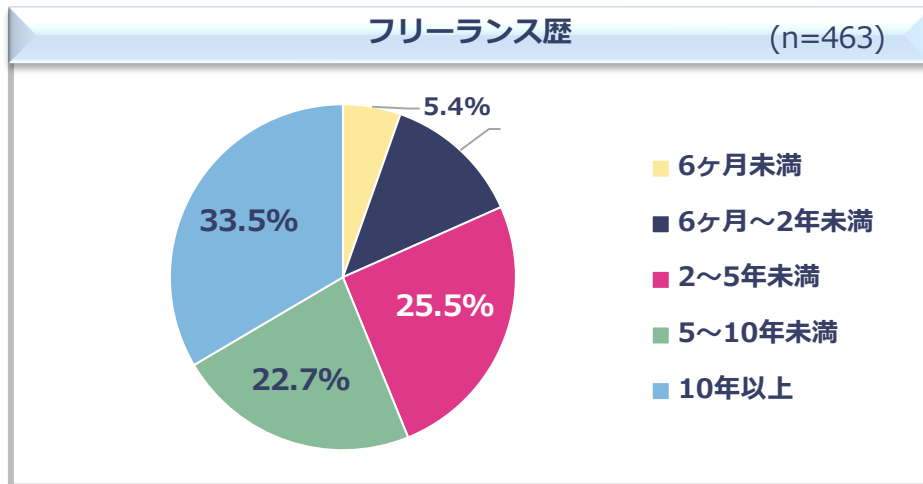
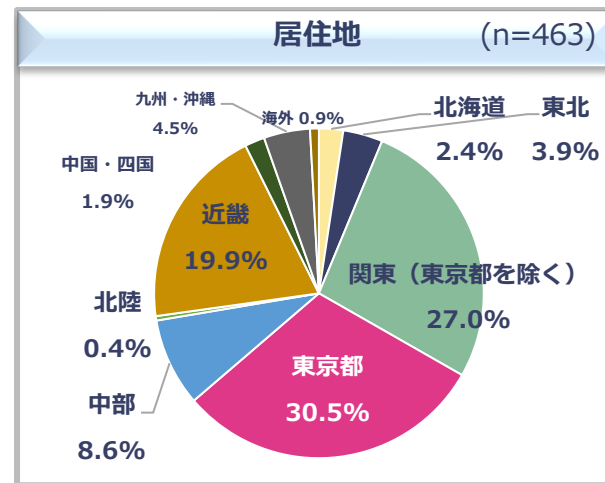
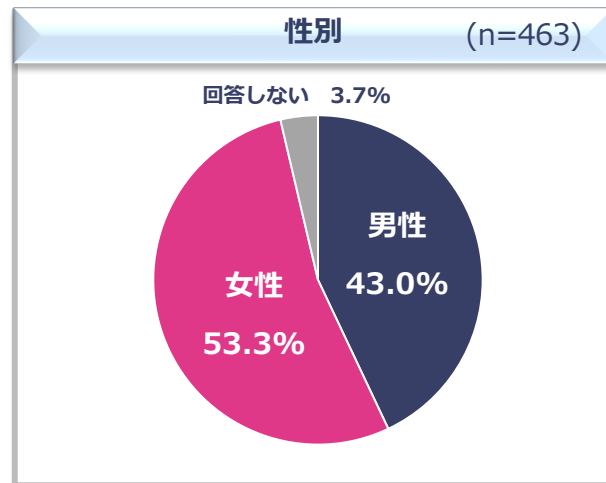
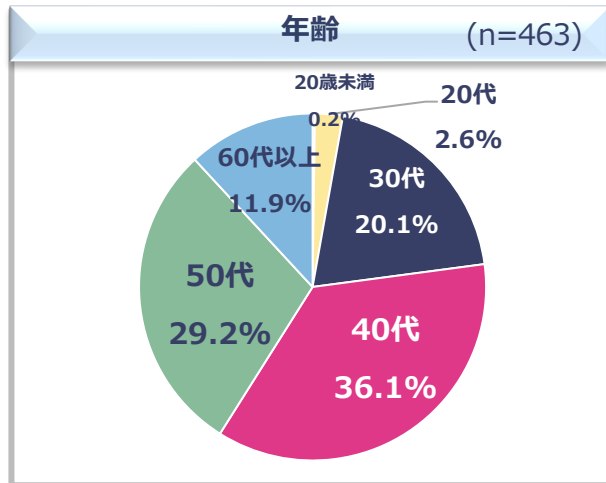
調査期間：2024.5.14 - 2024.6.1

調査方法：オンラインのアンケート調査フォームによる回答収集

告知方法：フリーランス協会メールマガジン・公式SNS

回答総数：472名 (内 集計対象者=フリーランス・パラレルキャリア活動者 463名) ※重複アドレスからの回答は厳正に削除済み

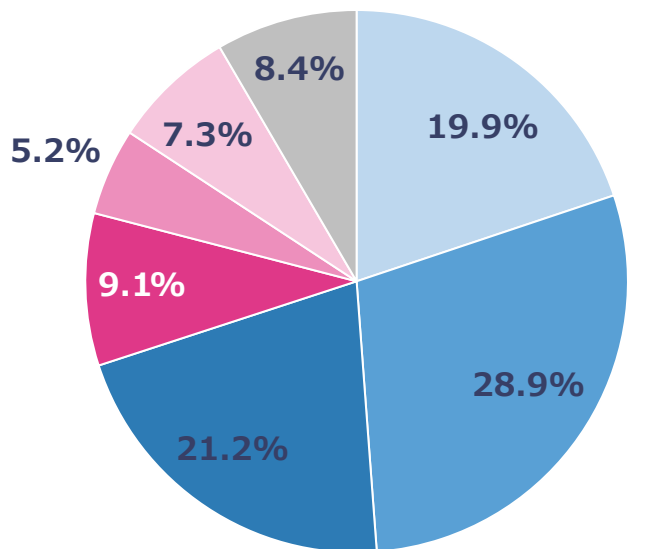
調査主体：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会



■回答者属性②（年収、年収・世帯に占めるフリーランス収入割合）

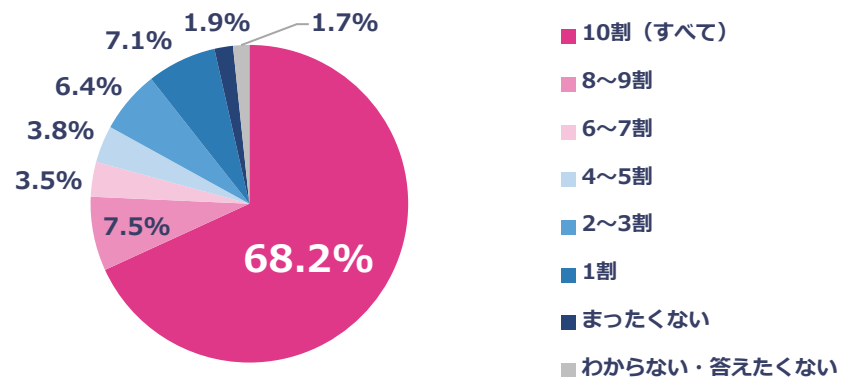
現在の年収（経費控除前売上） (n=463)

※世帯収入ではなく、個人の収入

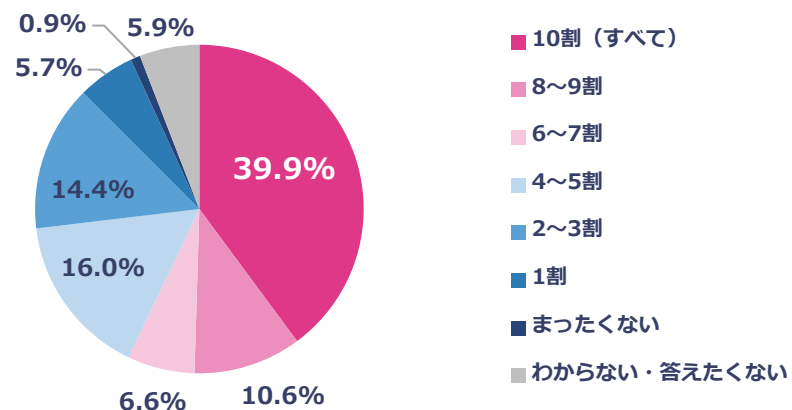


- 200万円未満
- 200-400万円未満
- 400-600万円未満
- 600-800万円未満
- 800-1000万円未満
- 1000万円以上
- わからない・答えたくない

年収全体に占めるフリーランス収入割合 (n=463)

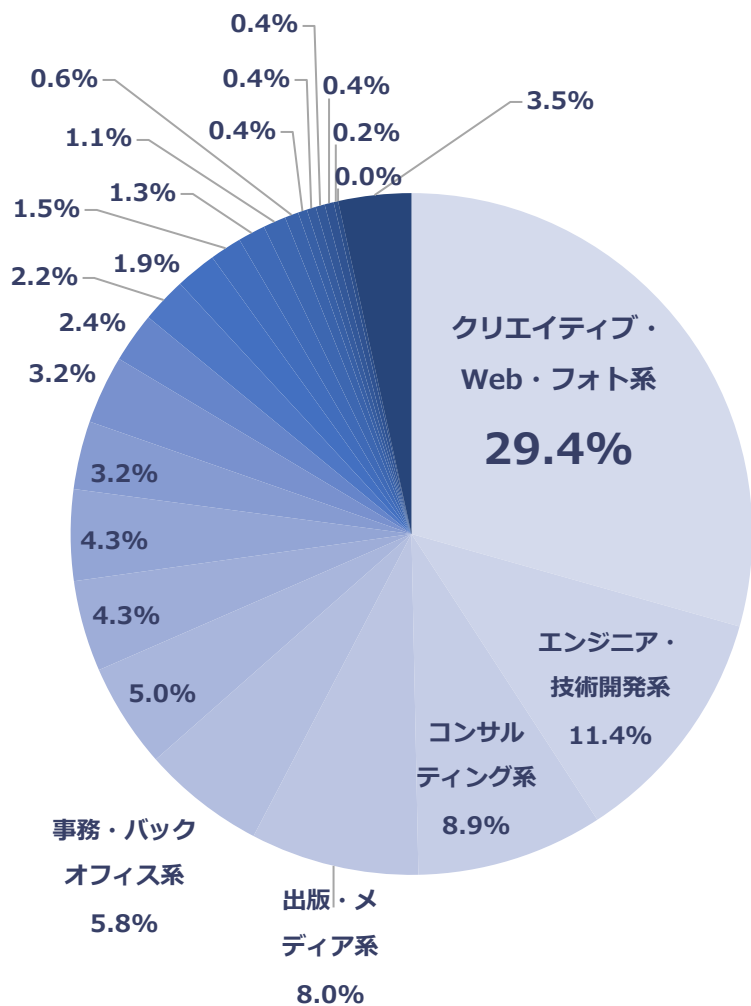


世帯全体に占めるフリーランス収入割合 (n=463)



主な収入源となっている職種

(n=463)



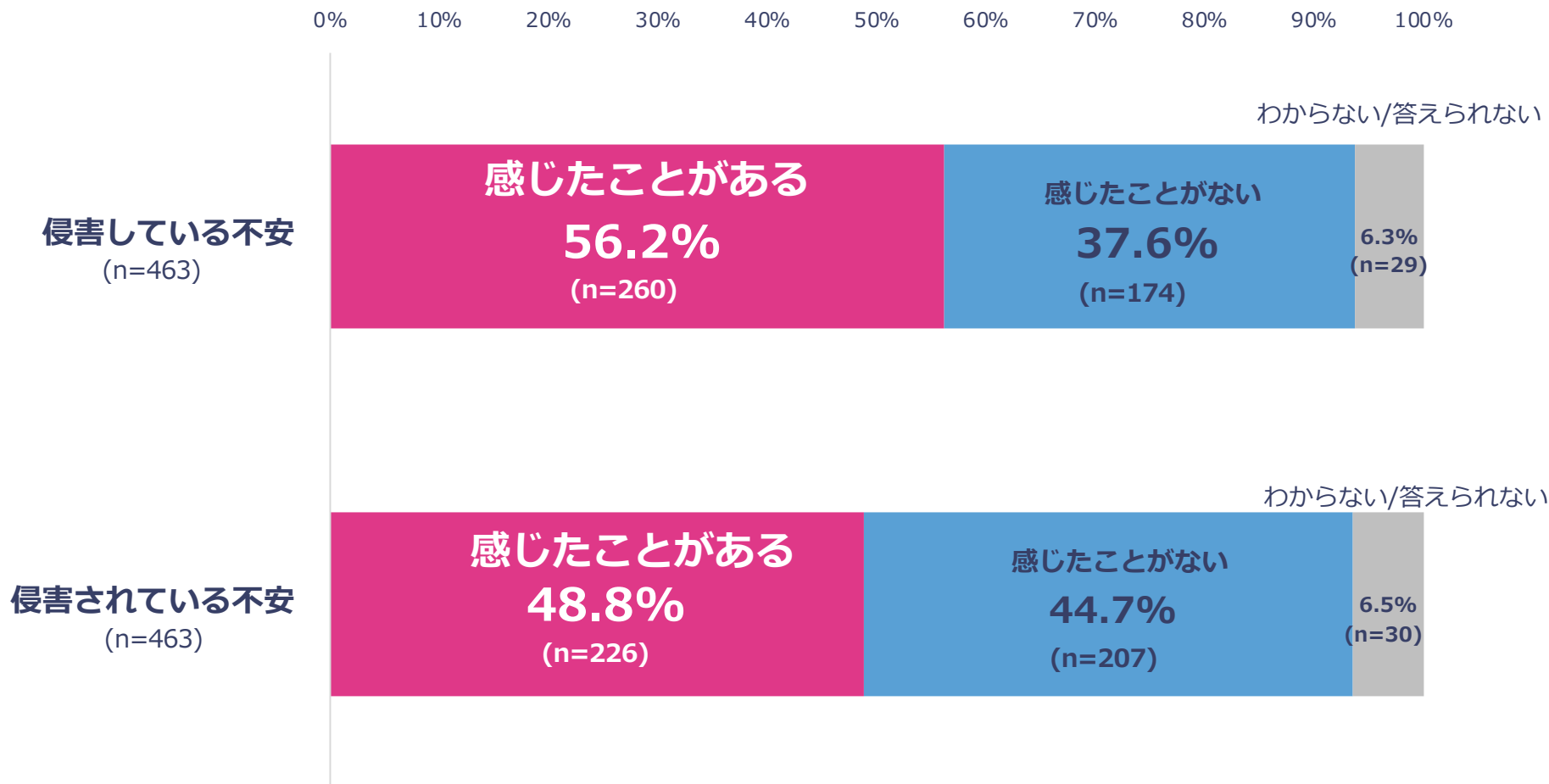
番号	現在の主な収入源となっている職種	回答数	割合
1	クリエイティブ・Web・フォト系	136	29.4%
2	エンジニア・技術開発系	53	11.4%
3	コンサルティング系	41	8.9%
4	出版・メディア系	37	8.0%
5	事務・バックオフィス系	27	5.8%
6	通訳翻訳系	23	5.0%
7	映像制作系	20	4.3%
8	企画系 (マーケティング・広報など)	20	4.3%
9	教育系	15	3.2%
10	芸術系	15	3.2%
11	営業・販売・小売系	11	2.4%
12	士業系	10	2.2%
13	ライフサポート系 (インテリアコーディネーター・ハウスキーパーなど)	9	1.9%
14	人事・人材系	7	1.5%
15	スポーツ・健康系	6	1.3%
16	美容ファッション系	5	1.1%
17	医療福祉系	3	0.6%
18	飲食系	2	0.4%
19	金融保険系	2	0.4%
20	配達・運送系	2	0.4%
21	観光系	2	0.4%
22	建築・施工系	1	0.2%
23	MC・モデル・タレント系	0	0.0%
24	その他	16	3.5%
	全体	463	100.0%

※「その他」回答抜粋
不動産、賃貸業、派遣、講師など

1)知的財産権侵害について不安を感じた経験

約半数のフリーランスが、知的財産権侵害についてなんらかの不安を感じたことがある

Q.あなたはフリーランスとして業務をする上で、知的財産権（著作権、商標権、特許権など）について不安を感じたことがありますか（単一回答）

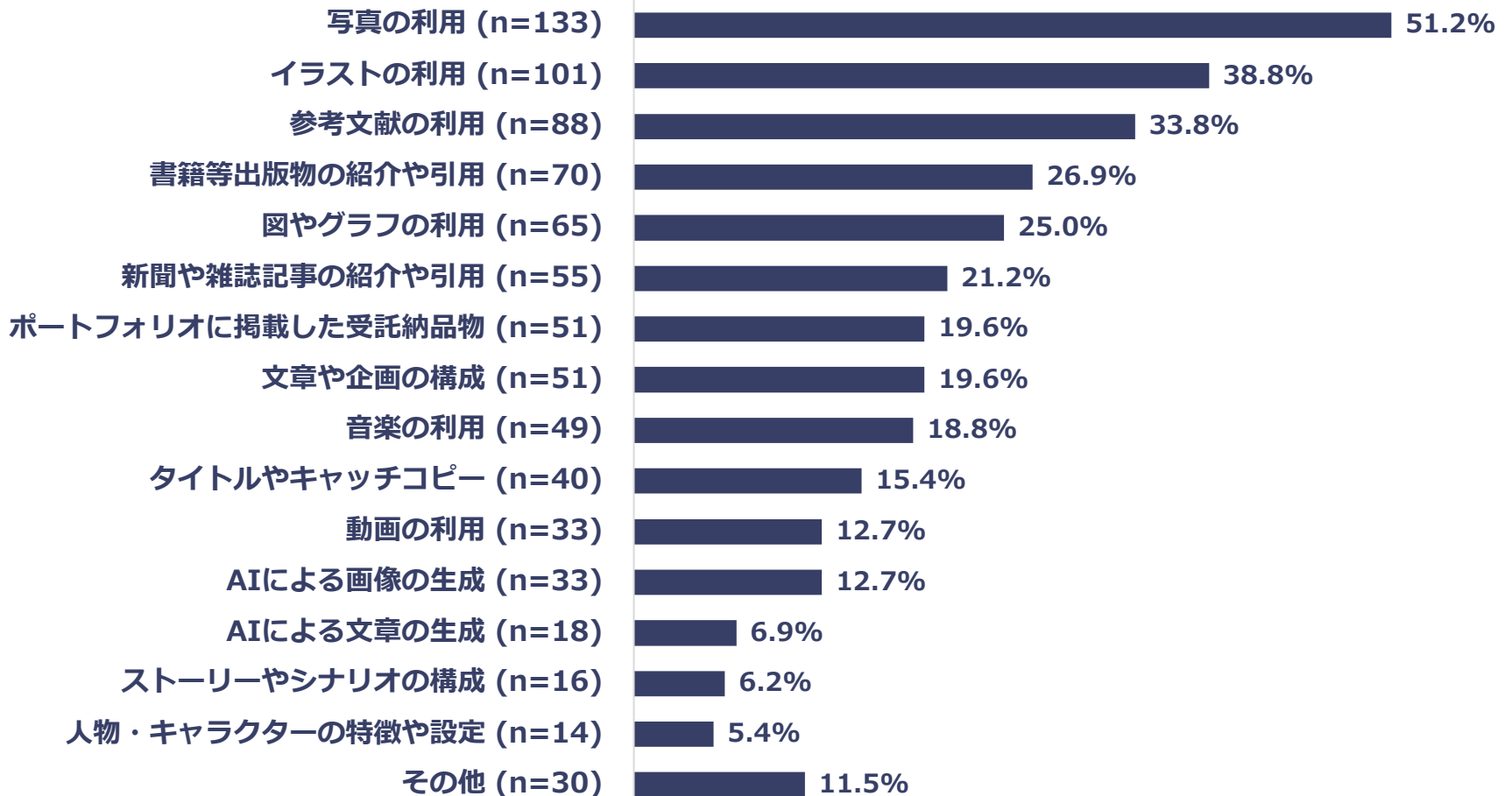


2-1) 【侵害している不安】 不安を感じた場面

制作物作成の際に利用する写真やイラストについて、侵害の不安を感じる人が多い

Q.どのような場面でご自身が知的財産権を侵害しているのではないかと不安に感じましたか。（複数回答） (n=260)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



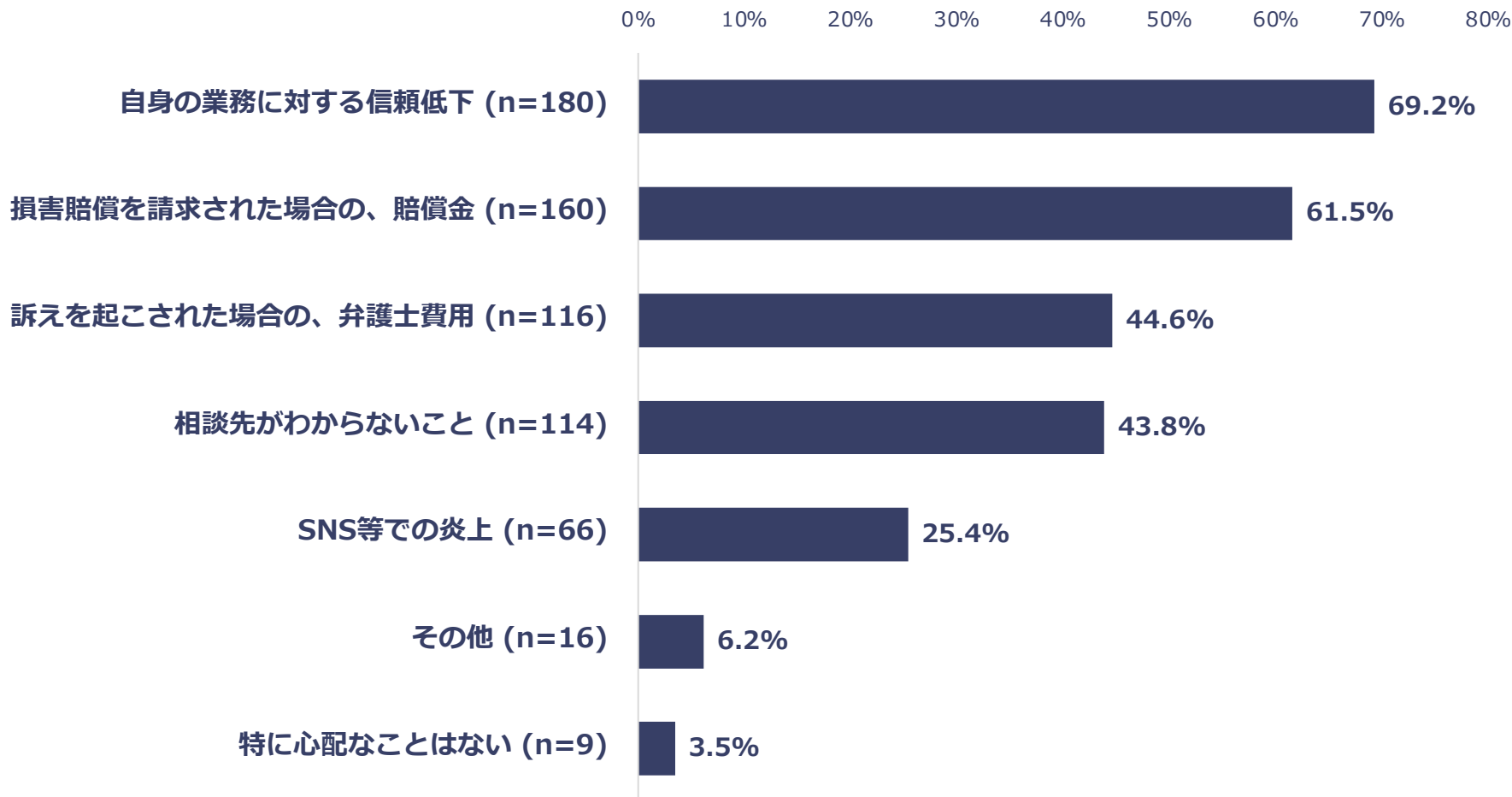
※知的財産権を侵害したのではないかと不安を感じている回答者

※小数点以下第二位四捨五入

2-2) 【侵害している不安】 不安になった時に心配だったこと

知的財産権侵害による心配は、信頼の低下、賠償金の支払いに対するものが6割を超えた

Q.ご自身が知的財産権を侵害しているのではと不安になった時、あなたが心配だったのはどのようなことですか。(n=260)
(複数回答)



※知的財産権を侵害したのではないかと不安を感じている回答者

※小数点以下第二位四捨五入

()内は主な収入源となっている職種 (自由回答記載者 n=170)

利用規約

- Adobe提供のFireflyによるスピーディーな画像生成を業務で使用しましたが、**本当に学習範囲や権利周りに問題がないか、利用規約や事例などを何度も調べました**(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 主に素材画像やイラスト等を利用する時に気をつかいます。有料素材を購入した場合であっても、ライセンスの範囲に抵触しないか神経を使うなと思います (**頻繁に使うサービスであっても、利用規約やライセンス範囲が変化するケースもある**ため、毎回規約を読むのが疲れますね) (クリエイティブ・Web・フォト系)
- 海外のサブスクを利用して、**ライセンスの説明など全てが英語表記のため、正しく理解できているか不安**になるときがあります。(映像制作系)

資料への転載や引用

- 生徒さん達に指導するための参考資料をまとめるために**ネット上の情報を集めて参考にした時**。(芸術系)
- 他社記事などの転載をする時や、記事ないのグラフなどを切り抜いて利用した時。**元記事のリンクポリシーや出典元を記載したりしているが、侵害がないかどうかは不安**がある。(人事・人材系)
- 説明資料を作成する際に使用したイラストや写真は画面表示のみで使用し、最終的にPDFで渡す際は写真等を抜いて渡しています。しかし、作成した文章については自分の知識、経験から作っており問題はないと思いますが、**引用ではないかとの指摘がされること**の不安はあります。(その他)

()内は主な収入源となっている職種 (自由回答記載者 n=170)

参考、参照の定義

- ネットでの画像を参考にイラストを制作。決してトレースではなく、自分なりのアレンジはしているつもりだが、自分の基準が正しいか自信がない。(出版・メディア系)
- デザインをモデリングしているが、パクリになっていないか心配(クリエイティブ・Web・フォト系)

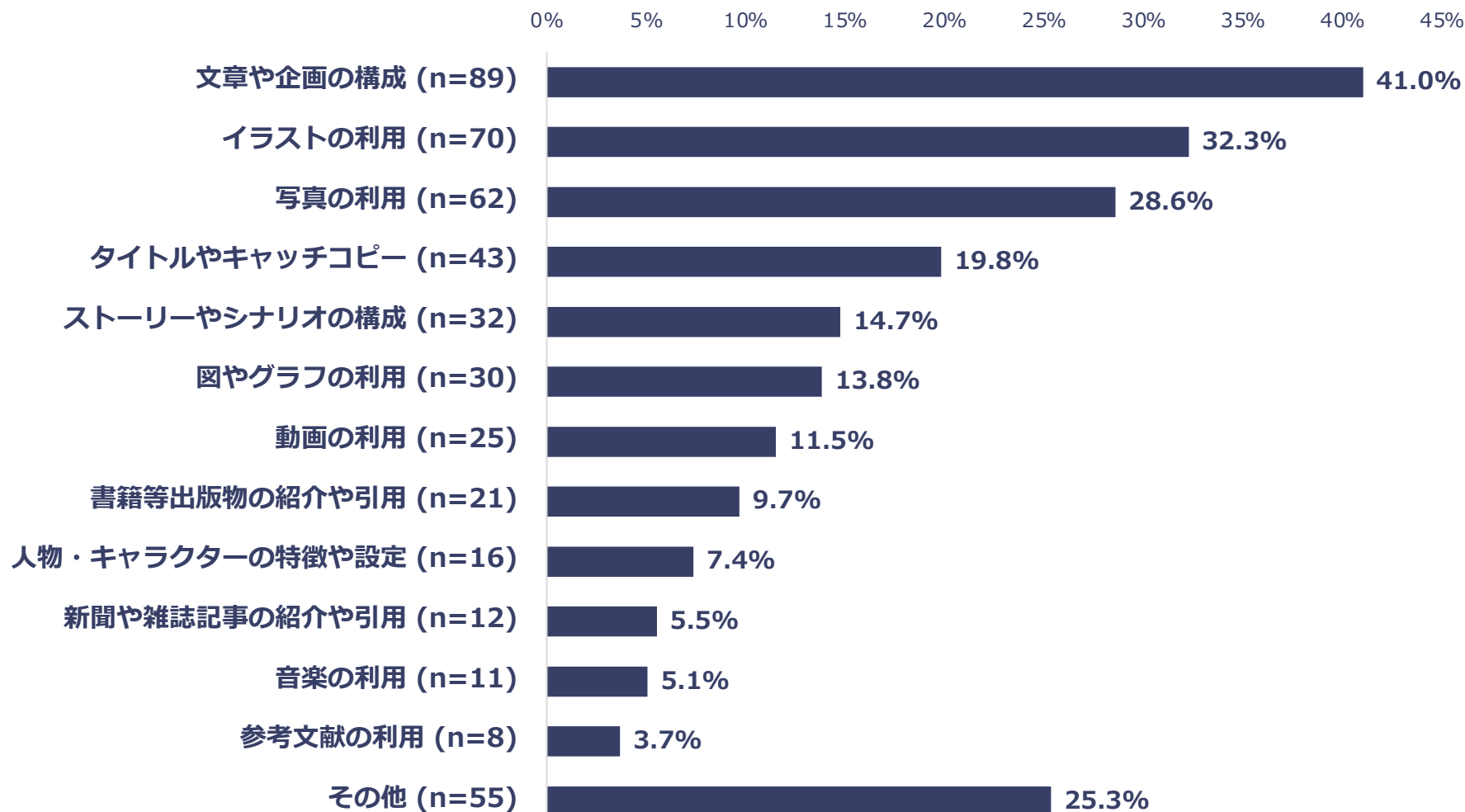
クライアントからの要望

- 10年グラフィックデザイナーをしています。ロゴ制作でヒアリングする際に、イメージに近いデザインの画像を見せていただくことが多いのですが、たまに「この参考画像にもっと寄せてほしい」と言われることがあり、どこまでOKなのか境界線が難しい時があります。(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 前任のデザイナーさんが制作したデザインデータ「コレを使ってデザインしてください」と言われることがよくあります 写真やイラストも含まれているので、著作権について依頼者に問い合わせるが「大丈夫」との返答 本当に大丈夫なのかなと思いながら時間に追われ制作に移ってしまうことがあります(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 文章作成業務をある企業から受注したが、受注後に聞いた作業内容が、他社の出版物を無許可で抜粋して文章作成するといった主旨だった。引用の域を明らかに超えており、他社の著作権を侵害すると感じたため作業は辞退したが、そこまで良好な関係だった受注先を信頼できなくなり、付き合いが途切れてしまった。(事務・バックオフィス系)

3-1) 【侵害されている不安】 不安を感じた場面

知的財産権を侵害されたと感じたのは「文章や企画の構成」が約4割

Q.どのような場面でご自身の知的財産権が侵害されているのではないかと不安に感じましたか。（複数回答） (n=217)



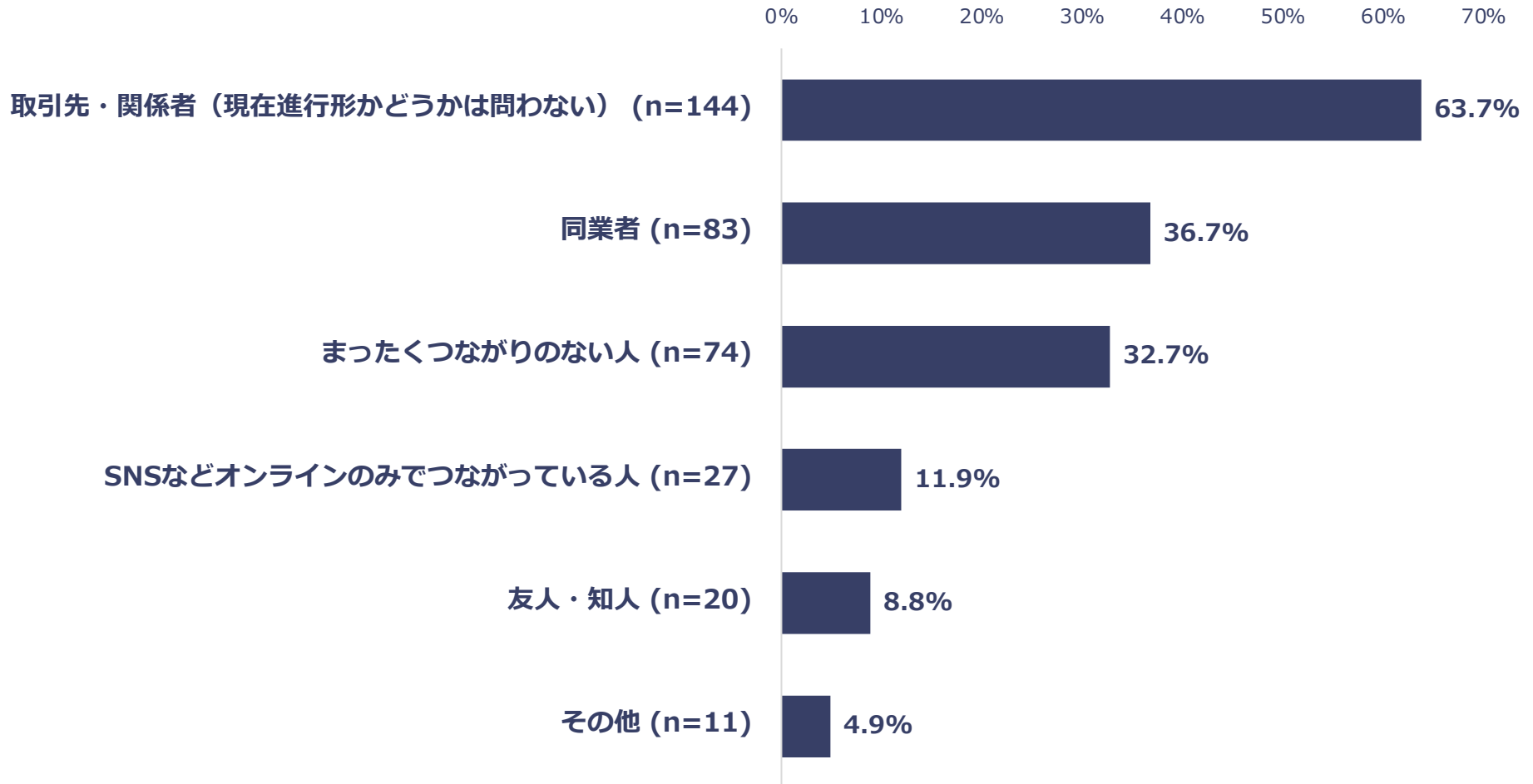
※知的財産権を侵害されたのではないかと不安を感じている回答者のうち、侵害の不安による心配が特でない回答者

※小数点以下第二位四捨五入

3-2) 【侵害されている不安】 侵害されていると感じた相手

知的財産権を侵害されたと感じた相手は「取引先・関係者」が6割を超え、最も多かった

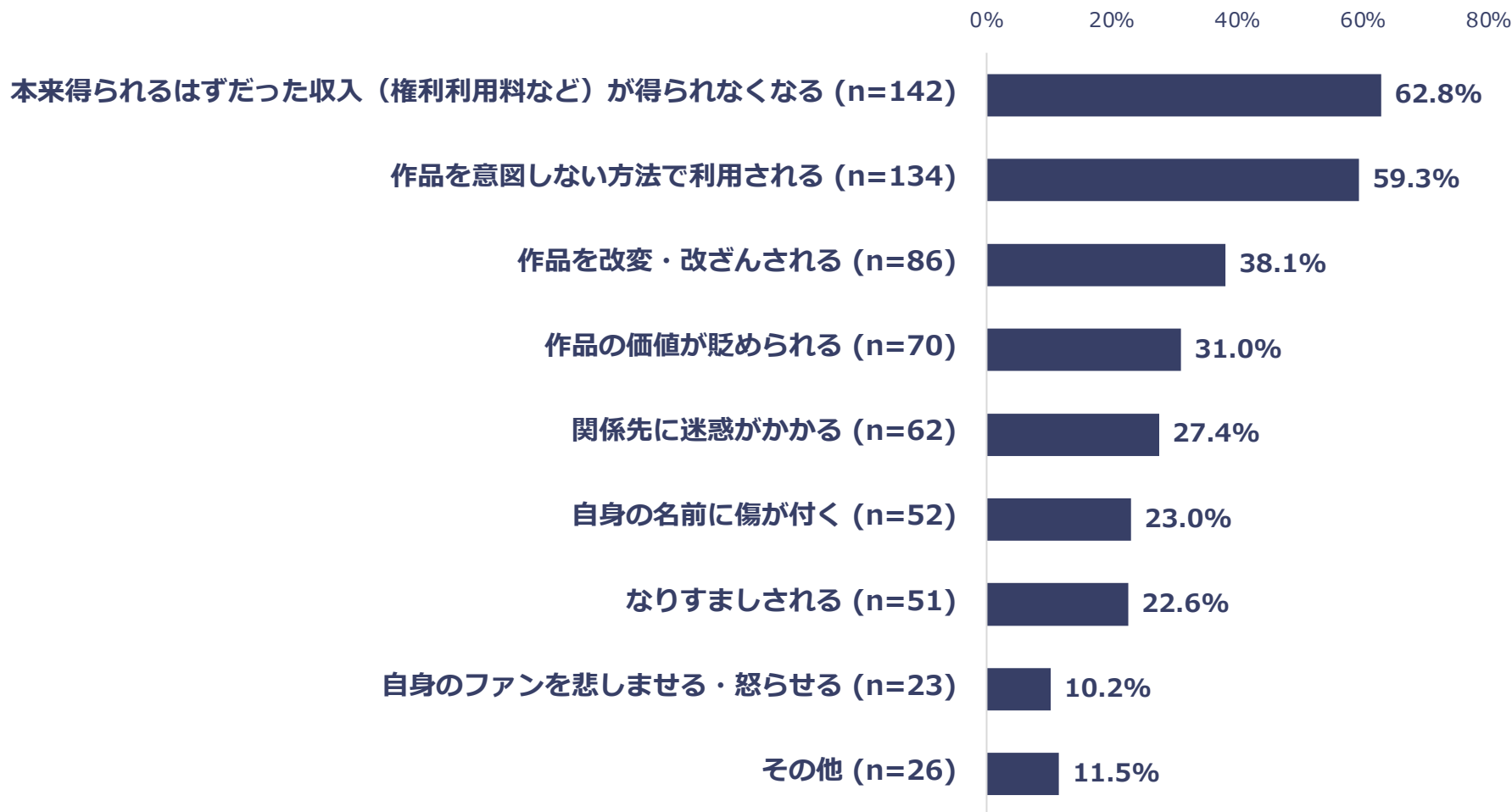
Q.知的財産権を侵害されているのではと感じたのは、どのような相手に対してですか。（複数回答） (n=226)



※知的財産権を侵害されたのではないかと不安を感じている回答者
※小数点以下第二位四捨五入

知的財産権侵害によって感じる不安は、本来得られるはずの対価が得られなくなるが6割を超えた

Q.知的財産権を侵害されているのではと感じた時、あなたが心配だったのはどのようなことですか。（複数回答）(n=226)



※知的財産権を侵害されたのではないかと不安を感じている回答者
※小数点以下第二位四捨五入

()内は主な収入源となっている職種 (自由回答記載者 n=151)

企画構成

- 明確な提案書ではなく、転職活動のカジュアル面談の中でお話した現行サイトへの改善案が、後日提案した通りに修正されていた件が、これは誰でも思いつく可能性はある提案なので何も法的問題はないですし、縛られるべきものでもないかと納得はしているものの、**話す内容の深度を考えさせられました。**(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 当方オリジナルテキストを活用しながら学ばれた方が、当コミュニティを抜けられ、他の似たようなコミュニティに属された時、**当方で扱っている分野の講師を担当されていた時に、もやっとした。**(スポーツ・健康系)
- 当方クラウドソーシングサービスでPRO認定されているデザイナーですが、出品文を全文コピー盗用されたり、私のカバー画像（サムネイル）をパクって他のクラウドソーシングサービスで使用している人がいました。
(指摘すると「参考にしただけど模倣のつもりはなかった」と言い訳していました) コロナ禍で大量発生した詐欺的なオンラインスクールが**「成功している人を真似しろ、パクれ」と指導していて、それを真に受けた受講者たちが実行している**ようでクリエイティブ界隈は酷い状態です。(クリエイティブ・Web・フォト系) *
*注：サービス名の固有名詞を「クラウドソーシングサービス」「他のクラウドソーシングサービス」に差し替え済み
- 未契約の段階で、相手（代理店）から「営業先に提案するから資料作って」と、私自身の考察と分析を含めた提案書を丸投げされた事がある。私の実績に著名なものがなかったため致し方ないと対応したが、HPの改善提案という性質上、中身のアイデアは水平展開されやすく、提案作成料もなかったため、職務著作についての意識改革が必要だと感じる。**この手のフリーランスの足元をみてアイデア搾取や労働搾取する代理店はとても多い。**(クリエイティブ・Web・フォト系)

()内は主な収入源となっている職種 (自由回答記載者 n=151)

契約条項

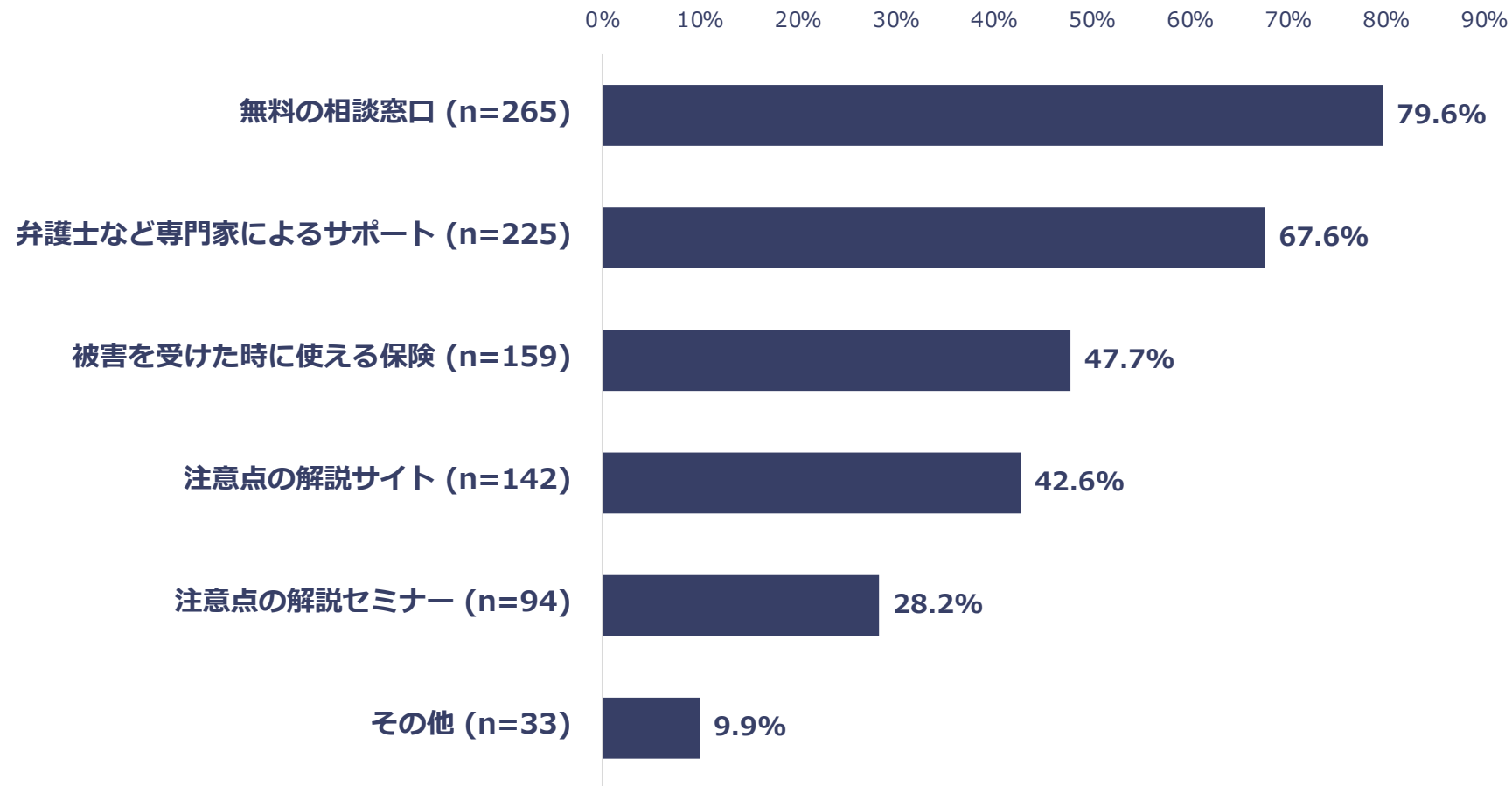
- 基本的に知的財産権を放棄するという契約が多いため、法的には侵害には当たらないのかもしれませんが、**守られているという実感もありません**。(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 自分がデザインした出版物を、海外で出版する際にデザインやロゴの意匠をそのまま無許可で踏襲され、支払いもなかった。契約ではデザイン(版下)は買い取りということになっているけれど、**厳密には知的財産権までは放棄していないと思うので、支払いして欲しいと思ったけれど、大手の取引先なので黙認している状態**(出版・メディア系)
- **料金の条件として二次利用込みかどうかの説明がないことがある**。一昔前は、ビデオ発売やネット配信など二次利用があれば、都度二次利用料が支払われたそうですが、最近は全て込みで料金は低いままです…。(通訳翻訳系)
- 教育委員会からの案件を受けた際、**契約書に著作者人格権の放棄が条件として記載されていた**。(出版・メディア系)

その他

- 画像生成AIやChatGPTなどの文章生成AIを使った様々なサービスを目にするたび、**自分の作品がスクレイピングされているのではという不安感**から抜け出せません。公開していた作品(有料含む)を非公開にしたこともあります。(芸術系)
- 特に「引用」の仕方について、学術的な慣例と、企業側の慣例が異なることが多く、「知的財産権を侵害」と明確には言えないケースだと思いつつ、**慣行のズレを感じることはあります**。(人事・人材系)

無料窓口、専門家による支援など不安を感じた時の一時受け皿と、専門的なアドバイスを求めている

Q.知的財産権侵害について不安な時に、こんな支援またはサービスがあればいいのと思うものがあれば教えてください。
(複数回答) (n=333)



※知的財産権を侵害した不安、侵害された不安のいずれかを感じている回答者
※小数点以下第二位四捨五入

フリーランスの知的財産権侵害に関する調査

2024年8月発行

(発行)

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリアフリーランス協会
調査・白書プロジェクト

(調査企画)

平田麻莉、後藤潤子、中山綾子

(データ分析)

後藤潤子、平田麻莉

(事務局)

中山綾子、鈴木正美、たくまのりこ

(お問合せ先)

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリアフリーランス協会
pr@freelance-jp.org

※引用・転載にあたってのお願い

本調査結果は、下記条件に基づき、ご自由に引用・転載いただくことができます。

1) 必ず下記のクレジット表記をお願いします。

**出典：一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会
「フリーランスの知的財産権侵害に関する実態調査」**

2) お手数ですが当協会事務局へ掲載報告をお願いします。

- ・ウェブサイトの場合：メールにて掲載URLをお知らせください
- ・印刷物の場合：掲載された書籍や記事を郵送でお送りください
- ・テレビ放映の場合：予め放映日をお知らせください